

平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社  
 コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 滝沢 昌彦  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 025-270-7111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	18,790	6.6	1,280	6.3	1,285	7.4	859	35.0
25年6月期第2四半期	17,634	1.8	1,204	△19.8	1,197	△20.3	636	△5.4

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 924百万円 (40.5%) 25年6月期第2四半期 658百万円 (△14.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	92.80	—
25年6月期第2四半期	68.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	27,427	8,270	30.2	892.89
25年6月期	21,101	7,505	35.6	810.59

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 8,270百万円 25年6月期 7,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	6.2	1,500	4.9	1,500	5.2	800	33.2	86.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	9,295,000 株	25年6月期	9,295,000 株
26年6月期2Q	32,263 株	25年6月期	35,555 株
26年6月期2Q	9,261,423 株	25年6月期2Q	9,260,098 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(5) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年7月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融政策への効果と期待から、円安・株高傾向がより一層顕著となり、輸出関連企業を中心に緩やかな回復基調がみられたものの、海外経済の成長鈍化や消費税増税に伴う家計負担増加への懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、節約志向・低価格志向は依然として根強く、消費者ニーズの多様化や価格競争の継続など、厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高187億90百万円（前年同四半期比11億56百万円（6.6%）の増加）、営業利益は12億80百万円（前年同四半期比75百万円（6.3%）の増加）、経常利益は12億85百万円（前年同四半期比88百万円（7.4%）の増加）、四半期純利益は8億59百万円（前年同四半期比2億22百万円（35.0%）の増加）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

#### ① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、昨今の景気回復傾向と消費動向の改善による需要の活性化はまだ目に見える状況までには至っておりません。

昨夏は、記録的な猛暑が続き、水産練製品の需要にとっては厳しい環境でありましたが、8月末から9月初旬にかけて気温が低下したことにより「おでん」商品群は順調に立ち上がり、秋冬期間の需要は総じて順調に推移いたしました。

商品及び販売施策におきましては、前年度より実施した主力商品のリニューアルによる商品力の向上と商品育成を目指した販売促進の強化を推進してまいりました。また、秋冬期間の主力商品である「おでん」商品群におきましても、おでんセット・おでん種の商品育成に取り組み販売拡大に努めてまいりました。

さらに、12月のおせち商品群におきましては、主力品の品質向上を図るとともに、適量・少量商品や健康志向商品ならびにキャラクター商品の投入により、多様化する消費者ニーズの対応に取り組んでまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は160億47百万円（前年同四半期比10億68百万円（7.1%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は7億57百万円（前年同四半期は6億99百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

#### ② きのこと事業

当セグメントにおきましては、安定生産及び品質向上ならびに販売強化により業績向上を目指してまいりました。市場環境は、昨夏の市場全体では生産量調整の動きがあったこと、初秋以降の全国的な多雨、台風等の気象環境により野菜価格が高騰したこともあり、きのこ価格は堅調に推移いたしました。

このような環境のなか、販売強化に継続的に取り組み、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は23億49百万円（前年同四半期比97百万円（4.3%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は4億64百万円（前年同四半期は4億52百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③ その他

(運送・倉庫事業)

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕や新規のお客様との取引拡大が寄与したことに加え、物流機能の効率化により、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、新規入庫数量の増加に加え、効率的な庫内管理に努めたことにより、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

(ゴルフ場事業)

当事業におきましては、プレー料金の低価格競争に加え、昨春先の降雪によるクローズ、昨夏の猛暑など天候不順の影響を受け、来場者数、売上高ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は3億93百万円（前年同四半期比8百万円(2.1%)の減少）、セグメント利益（営業利益）は41百万円（前年同四半期は48百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は113億6百万円（前連結会計年度末比47億45百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加によるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は161億20百万円（前連結会計年度末比15億80百万円の増加）となりました。これは主に水産練製品製造設備の機械装置及び運搬具の増加ならびに海外連結子会社の工場建設に伴う建設仮勘定の増加によるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は129億15百万円（前連結会計年度末比48億89百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は62億40百万円（前連結会計年度末比6億71百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の増加によるものであります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加により82億70百万円（前連結会計年度末比7億65百万円の増加）となりましたが、自己資本比率は季節的要因による流動負債の増加により、前連結会計年度末の35.6%から30.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月6日発表の通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,567,664	2,526,349
売掛金	2,848,705	6,200,013
商品及び製品	435,596	348,860
仕掛品	475,573	332,097
原材料及び貯蔵品	1,051,061	1,401,905
その他	183,397	499,556
貸倒引当金	△821	△1,907
流動資産合計	6,561,177	11,306,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,312,178	5,381,374
機械装置及び運搬具(純額)	2,526,492	2,771,812
工具、器具及び備品(純額)	142,990	129,961
土地	3,537,575	3,533,891
リース資産(純額)	34,228	28,407
建設仮勘定	187,230	1,290,007
有形固定資産合計	11,740,695	13,135,453
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,895,850	1,918,791
その他	590,623	738,263
貸倒引当金	△64,160	△42,222
投資その他の資産合計	2,422,313	2,614,832
固定資産合計	14,540,169	16,120,503
資産合計	21,101,346	27,427,379
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,542,510	2,775,100
短期借入金	3,727,880	6,543,426
未払法人税等	448,773	624,491
賞与引当金	55,730	54,497
未払金及び未払費用	1,568,930	2,038,231
その他	682,153	880,145
流動負債合計	8,025,978	12,915,892
固定負債		
社債	2,115,000	1,942,500
長期借入金	2,773,324	3,572,620
退職給付引当金	1,003	—
役員退職慰労引当金	149,953	172,686
その他	530,516	553,040
固定負債合計	5,569,796	6,240,846
負債合計	13,595,774	19,156,738

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	5,314,467	6,011,677
自己株式	△17,804	△15,457
株主資本合計	6,886,662	7,586,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	538,062	598,381
為替換算調整勘定	80,847	86,038
その他の包括利益累計額合計	618,909	684,420
純資産合計	7,505,572	8,270,640
負債純資産合計	21,101,346	27,427,379



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	17,634,150	18,790,873
売上原価	12,727,699	13,570,932
売上総利益	4,906,451	5,219,940
販売費及び一般管理費	3,701,472	3,939,136
営業利益	1,204,979	1,280,803
営業外収益		
受取利息	88	188
受取配当金	11,467	13,249
受取賃貸料	10,505	7,201
受取手数料	1,995	6,000
為替差益	—	20,184
雑収入	24,594	20,285
営業外収益合計	48,650	67,109
営業外費用		
支払利息	52,630	61,927
雑損失	3,612	207
営業外費用合計	56,243	62,135
経常利益	1,197,386	1,285,778
特別利益		
固定資産売却益	536	6,075
受取賠償金	9,889	622
補助金収入	—	41,633
受取保険金	—	13,938
特別利益合計	10,425	62,269
特別損失		
固定資産除却損	10,498	10,784
固定資産売却損	—	176
投資有価証券評価損	3,345	—
工場移転費用	33,300	—
特別損失合計	47,144	10,960
税金等調整前四半期純利益	1,160,668	1,337,087
法人税、住民税及び事業税	552,537	609,082
法人税等調整額	△28,475	△131,448
法人税等合計	524,061	477,634
少数株主損益調整前四半期純利益	636,606	859,453
四半期純利益	636,606	859,453

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	636,606	859,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,872	60,319
為替換算調整勘定	—	5,191
その他の包括利益合計	21,872	65,510
四半期包括利益	658,478	924,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	658,478	924,963
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,160,668	1,337,087
減価償却費	580,002	600,425
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△590	△20,852
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,553	△1,233
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17,124	22,733
受取利息及び受取配当金	△11,555	△13,438
支払利息	52,630	61,927
為替差損益(△は益)	—	△25,630
投資有価証券評価損益(△は益)	3,345	—
固定資産売却損益(△は益)	△536	△5,898
固定資産除却損	10,498	10,784
売上債権の増減額(△は増加)	△3,125,869	△3,479,371
たな卸資産の増減額(△は増加)	△314,979	△120,631
仕入債務の増減額(△は減少)	1,443,122	1,419,401
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	287,655	503,803
受取賠償金	△9,889	△622
その他	82,726	9,842
小計	170,799	298,327
法人税等の支払額	△103,198	△437,561
賠償金の受取額	9,889	622
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,489	△138,611
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	117,995	10,014
有形固定資産の取得による支出	△1,152,034	△2,189,080
有形固定資産の売却による収入	1,763	2,033
無形固定資産の取得による支出	—	△5,678
投資有価証券の取得による支出	△185,259	△3,027
投資有価証券の売却による収入	5,000	3,500
長期前払費用の取得による支出	△11,687	—
利息及び配当金の受取額	11,924	13,658
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	22,076	—
その他	2,671	8,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,187,550	△2,159,623
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,032,000	2,600,000
長期借入れによる収入	—	1,596,000
長期借入金の返済による支出	△621,586	△694,528
社債の償還による支出	△120,000	△172,500
利息の支払額	△52,292	△49,283
配当金の支払額	△92,643	△92,632
その他	△8,178	△8,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,137,299	3,178,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	88,352
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,239	968,699
現金及び現金同等物の期首残高	551,117	1,238,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	578,356	2,206,844

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,979,197	2,252,677	17,231,874	402,275	17,634,150	—	17,634,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	844,587	844,587	△844,587	—
計	14,979,197	2,252,677	17,231,874	1,246,863	18,478,738	△844,587	17,634,150
セグメント利益	699,291	452,346	1,151,637	48,423	1,200,061	4,917	1,204,979

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額4,917千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,047,268	2,349,961	18,397,230	393,643	18,790,873	—	18,790,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,208,458	1,208,458	△1,208,458	—
計	16,047,268	2,349,961	18,397,230	1,602,102	19,999,332	△1,208,458	18,790,873
セグメント利益	757,971	464,354	1,222,326	41,998	1,264,324	16,479	1,280,803

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額16,479千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 重要な後発事象

当社は、平成26年2月7日開催の取締役会において、当社のゴルフ場関連不動産賃貸事業の新設分割及びその新設会社の株式譲渡契約の締結、ならびに連結子会社のゴルフ場運営会社である株式会社オリエントプランの株式及び債権譲渡契約の締結を決議いたしました。

詳細につきましては、本日（平成26年2月7日）公表の「ゴルフ場事業（新設分割（簡易新設分割）及び新設会社の株式譲渡並びに子会社の株式及び子会社に対する貸付債権等の譲渡）の譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。